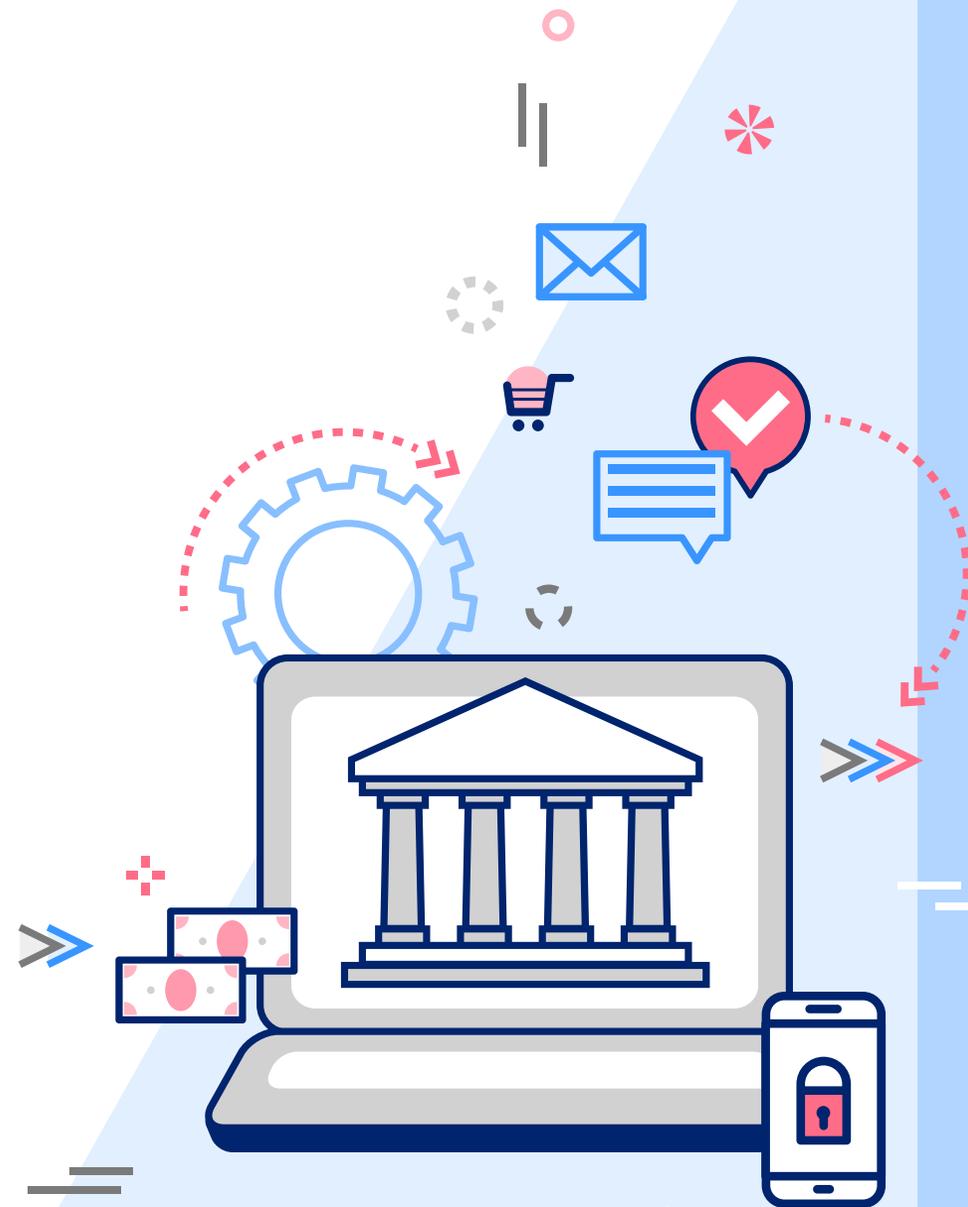


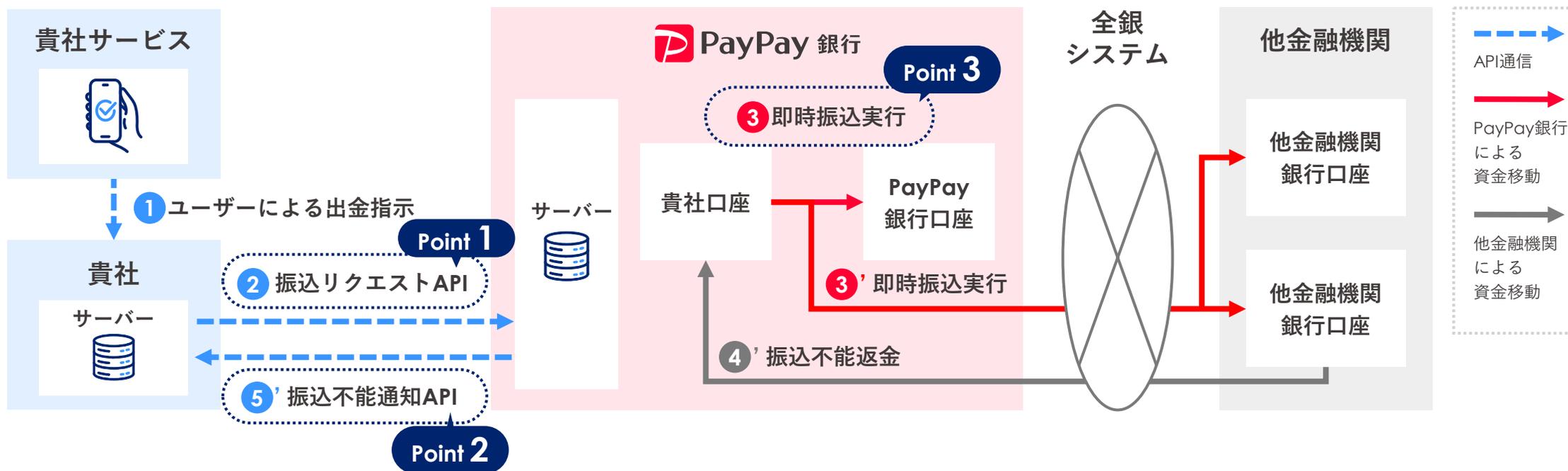


リアルタイム振込 商品概要



1. サービス概要

リアルタイム振込ではAPI通信による振込処理の自動化・即時化を実現できます。



Point 1

振込リクエストAPIに対し当社は振込結果をレスポンスします。1トランザクション単位のお取引が可能です。

Point 2

他金融機関宛振込において発生した振込不能は、APIによる即時通知を行います。貴社内の振込ステータスの自動変更が可能です。

Point 3

振込実行時の条件（即時着金確約不可など）に応じて、トランザクションごとに挙動をコントロール可能です。

2. 利用例

さまざまな事業者様にご利用いただいています。

資金移動業者様



ユーザー様の指示に基づき、
即時銀行振込を
行うことが可能です。

貸金業者様



ユーザー様による融資依頼に
即時銀行振込で
お応えすることが可能です。

ECサイト業者様



ユーザー様の売上金を
即時銀行振込で
入金することが可能です。

3. オプション機能（モアタイム振込・クイック総振）

モアタイム振込機能オプション

24時間365日の振り込みが可能で、エンドユーザー様の利便性向上が図れます。

- 通常「翌営業日扱い」の振り込みとなる平日15時30分～翌8時、休日の時間帯においても受取銀行から振込可の応答があれば、リアルタイムでの着金が可能です。
- PayPay銀行はメンテナンスを除きモアタイムの常時接続を行っています。

振込可能時間のイメージ

時間帯	平日	休日
0:00～		
6:00～8:30	モアタイム停止時間	モアタイム 受取銀行が接続していれば 即時着金可能
8:30～15:30	コアタイム 銀行営業時間	
～24:00		

※ モアタイムとは、全国銀行協会が制定した用語で、通常の銀行営業時間（コアタイム）以外に、平日の夜間や土日祝日に対応したサービス提供時間の名称です。

クイック総振オプション

振込元となる口座を追加いただけます。

- 複数口座からXML自動振込サービスのAPI指示による出金が可能になります。

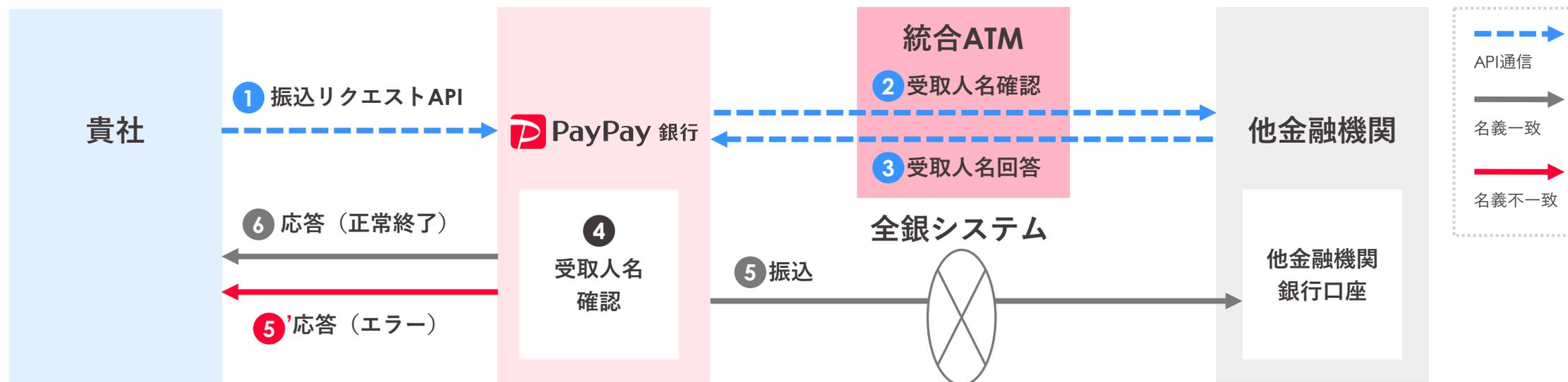
振込元口座追加のイメージ



4. オプション機能（口座確認機能）

口座確認機能機能オプション

振込実行前に振込先受取人名の一致確認ができるため、振込不能件数を削減できます。



- 口座確認「要」とした振り込みは、PayPay銀行が統合ATM経由で受取人名を確認し、一致・不一致を判断します。（②③）
- 一致の場合はそのまま振り込みを実行し正常終了を応答、不一致の場合は振り込みを実行せずエラーを応答します。（⑤⑤'）

※ PayPay銀行宛振込の場合も、統合ATMを経由しないものと同様の挙動を行います。

5. 導入までのステップ

貴社の開発完了後、テスト環境準備からリリースまでに最短でも約8週間は必要です。
スケジュールの遵守をお願いするものではありません。貴社にあわせてリリース日程の調整は可能です。



ご留意事項

- 貴社の開発・設定が完了後、システム情報をヒアリングシートにご記入のうえ、ご提出ください。
- ヒアリングシートのご提出時には、テスト希望日、本番環境リリース希望日をご記入ください。
- 過度な短縮スケジュールはお受けできません。

6. 当社からのご提案・ご案内にかかる確認事項

- 当社では、企業様と提携をさせていただくにあたり、下記基準による審査のうえサービスを提供しております。貴社が下記に該当するような、法令や公序良俗に反する商品・役務の提供を事業とされていることを当社にて認めた際には、当社の判断で提携の全部または一部、または口座を解約させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。
- 資金移動業者様、暗号通貨交換業者様、海外送金事業者様との提携にあたってはAML/CFT体制確認のためのヒアリングシートの提出をお願いしております。

- (1) 公序良俗に反するもの。
- (2) 銃刀法、麻薬取締法、ワシントン条約、その他法律、政令、省令、条例、条約、業界規制等に違反するもの。
(オンラインカジノおよび日本国で金融商品取引業の登録が無い業取引（いわゆる海外FX等）を含む。)
- (3) 当社または第三者の肖像権、知的所有権、知的財産権をはじめとする権利を侵害、または侵害するおそれのあるもの。
- (4) 当社のサービス運営を妨害するもの、当社の信用を毀損し、もしくは当社の財産を侵害するもの、当社または第三者に不利益を与えるもの。
- (5) 本人の同意を得ることなく、または詐欺的な手段により当社または第三者の個人情報収集するもの。
- (6) 反社会的あるいは反道徳的な行為を目的とするもの。
- (7) 次に掲げる類の公序良俗に反する表現・内容を含むもの。
 1. 犯罪を肯定・美化する表現・内容
 2. 性に関する表現で、青少年の保護育成に反すると思われる表現・内容
 3. 醜悪・残酷な表現で、消費者に不快感を与える恐れのある表現・内容
 4. 不良商法・詐欺的とみなされる表現・内容
 5. 非科学的・迷信に類するもので、消費者を惑わせたり不安を与える表現・内容
 6. 誹謗中傷・人権侵害になる表現・内容
 7. その他、当社が不相当と判断したもの